

玉江校区社会福祉協議会だより

玉江のきずな

〒890-0005
鹿児島市下伊敷1-35-1
玉江校区社会福祉協議会
TEL 813-7125
FAX 813-7126

コロナ禍の中で

会長 峯元正征

肌寒い日が続く寒気の中、2月も下旬に入り梅のつぼみもほころび始めて、少し春を感じさせる季節になってきました。



玉江校区にお住いの皆さま、令和4年も、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年も引き続き玉江校区社会福祉協議会の運営に対して格別のご理解とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

当協議会では、地域にお住いの高齢者への福祉活動や、子育て中の若いお母さんへの悩みの相談を含めた「子ども子育てサロン」の運営など、幅広く活動をいたしております。

昨年は、コロナ感染拡大の影響で中止になった介護講習会、認知症予防講習会についても下伊敷地区、小野地区と2ヶ所で今年開催を計画致しております。

また、地域見守り活動、歳末助け合い募金などのボランティア活動にも積極的に取り組む計画もしております。

全国的なコロナ禍の中、感染拡大の勢いが止まりません。昨年末、県内では小康状態が続いていましたが、年末年始を境に全国各地で、また、地元鹿児島でも感染拡大が止まりません。一刻も早い終息が望まれます。

玉江校区社会福祉協議会は、地域の人たちが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、さまざまな取り組みを行う所存であります。

今後とも本協議会の活動にご理解とご支援を重ねてお願い申し上げます。



総務部の活動報告

総務部 部長 井上清視

玉江校区社会福祉協議会は、改組され新しい組織として、総務部、福祉部、子育てサロンの3部に編成され、3年目の活動に入っています。そこで今回は総務部の活動概要を紹介します。

総務部の活動としては、先ず当協議会の広報機関紙としての「玉江のきずな」を2月と7月の年2回発行することです。今回で第6号となりました。一面では主として、会長のあいさつに加えて、当協議会の活動報告や方向性を掲載しています。

また、二面では紹介コーナーとして、玉江小学校校区内で年をとっても元気ではつらつと活躍している人を「元気びと」として取り上げています。加えて、



地域で仲間作りに励んでいる人々を「かがやく仲間たち」というテーマで紹介しています。皆さま方がお気付きの「元気びと」や「かがやく仲間たち」のお知り合いを事務局までご連絡くだされば大変助かります。

次に赤い羽根共同募金活動です。毎年12月上旬の土曜日から日曜日にかけて鹿児島市社会福祉協議会主催による募金活動が伊敷ニュータウンのAコープ店やニシムタ店で実施されます。それに私たちの当協議会も4~5名が参加して活動しています。多くの市民の方々の善意ある募金に感謝しています。

3番目の活動としては当協議会の予算と執行です。協議会の予算は各町内会の負担金と鹿児島市からの助成金で編成されています。令和2年12月には新型コロナウイルス感染症に鑑み町内会会員の各家庭にマスクを配布して、皆さま方から喜んで頂いたところです。

玉江校区社会福祉協議会に対し今後とも皆さま方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

紹介コーナー 下伊敷の元気びと

「比良田輝明さん」



下伊敷1丁目で、お菓子の製造、販売を行っているのが、比良田輝明さん(81歳)。

比良田さんは、平成11年より23年間下伊敷住宅むつみ会町内会長として、現在も地域住民の代表として頑張っています。菓子づくり職人として66年、県菓子工業組合理事長を4年、現在は顧問として菓子工業組合の発展にも尽くして、内閣総理大臣賞を始め数々の表彰を受ける菓子づくりの職人でもあります。

下伊敷1丁目の現在の地に、昭和41年に「菓子のひらた」として開店して56年、特に「どら焼き」は大好評で、遠方から買い求めるお客さんが絶えません。



地域の発展にも熱心で、下伊敷消防分団の部長として40年、現在は、下伊敷町内会連合会会長として、また、玉江校区社会福祉協議会に於いては「総務部会福祉委員」に籍を置き、安心安全に暮らせるまちづくりを目指して地域の代表として貴重な意見を発信してもらっています。

今後も、豊富な体験を当社会福祉協議会発展の為に良きアドバイスをお願いいたします。

(取材 編集部)

「社会福祉協議会より一言」

比良田さんは、80歳を超えた人には見えないくらい若々しくまた、自分の仕事には自信と前向きな考えを持たれる人だと取材を通して感じました。これからも体力の続く限り地域発展の為に頑張ってください。

かがやく仲間たち

「はら!! 今日も来がなったな」

梅ノ木よかよか元気クラブ
代表 脇園和子

私たちのクラブは令和3年5月にスタートしたピカピカの1年生です。現在、会員は18名、平均年齢は70歳代後半?でしょうか。小野市民館を利用して、毎週1回「よかよか元気体操」を楽しんでいます。



会の運営方針は、自分の都合や体調を考慮して気軽に参加できるようにしており、「はら!! 今日も来がなったな」が合言葉です。

よかよか元気体操は、高齢者でも楽しめるように、約40分間の運動の中で、大半はイスに座ったままできるストレッチ体操が中心です。首、肩、背中、足などを思いきり伸ばすので、終了後は体が軽くなったように感じ、食も進みます。

ふだんは、ビデオを見ながら自分たちだけで運動しますが、年に4~5回、理学療法士の方が直接指導に見えて、それぞれの運動の目的、効果などを丁寧に教えてくださるので、とても助かっています。

もう一つ嬉しいのは、このよかよか元気体操には、開催1回につき、千円の補助金が交付されます。12月には早速、この補助金でケーキを買って、クリスマスのお茶会を開きました。「捕らぬ狸の皮算用」ではありませんが、次は何を食べようかと思案中です。

楽しい雰囲気の中で、みんないつまでも元気に過ごせるように、力を合わせて頑張っています。

